目 次

I. 総括研究報告 (別紙 3)	
発生毒性リスク評価に資するシグナル伝達かく乱作用を基にした NAMs の開発 大久保 佑亮	1
II. 分担研究報告 (別紙 4)	
1. リスク評価に向けた DynaLux/c の改良 大久保 佑亮 福田 淳二	14
2. In vitro-in vivo extrapolation (IVIVE)に向けた情報収集並び評価物質の選定 桑形 麻樹子	29
3. 多色ルシフェラーゼアッセイの構築 中島 芳浩	31
4. コンソーシアムの設立、国内外の合意形成 小島 肇	39
5. OECD テストガイドライン対応 平林 容子	42
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 (別紙 6)	46